

第 3 6 8 回 役 員 会 議 事 要 録

1. 日 時 平成 2 7 年 6 月 8 日 (月) 自 1 3 時 3 0 分 至 1 5 時 0 0 分
2. 場 所 学 長 室
3. 出 席 者 中 井 学 長、功 刀 理 事 (副 学 長)、三 浦 理 事 (副 学 長)、
神 子 理 事 (副 学 長)、青 柳 理 事
【オブザーバー出席】千 葉 副 学 長、小 沢 副 学 長、中 村 事 務 局 長、
平 山 監 事、高 橋 監 事
4. 審 議 事 項
 - (1) 「ガバナンス総点検について (最終報告) (案)」について 資料 1
 - (2) 平成 2 6 事 業 年 度 に 係 る 業 務 の 実 績 に 関 す る 報 告 書 に つ い て 資料 2
 - (3) 第 3 期 中 期 目 標 ・ 中 期 計 画 (最 終 案) に つ い て 資料 3
 - (4) ハ ノ ー バ ー 大 学 (ド イ ツ) 及 び オ ザ ー ク ス 大 学 (米 国) と の 大 学 間
交 流 協 定 締 結 に つ い て 資料 4
 - (5) 重 慶 理 工 大 学 (中 国) と の 学 生 交 流 協 定 締 結 に つ い て 資料 5
5. 報 告 事 項
 - (1) 国 立 大 学 法 人 等 に お け る 女 性 管 理 職 等 へ の 登 用 推 進 の 目 標 設 定 に つ い て 資料 6
 - (2) そ の 他

【確認事項】

第 3 6 7 回 役 員 会 議 事 要 録 を 原 案 の と お り 確 認 し た。

【審議事項】

- (1) 「ガバナンス総点検について (最終報告) (案)」について
中 井 学 長 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あ り、内 容 に つ い て は 役 員 室 長 か ら 説 明 す る と の 発 言 が あ っ た。
引 き 続 き 役 員 室 長 か ら、資 料 1 に 基 づ き、中 央 教 育 審 議 会 大 学 分 科 会 「大 学 の ガ バ ナ ン ス 改 革 の 推 進 に つ い て (審 議 ま と め)」 (H 2 6 . 2 . 1 2) の 報 告 を 踏 ま え、昨 年 度 よ り 実 施 し て き た 本 学 の 管 理 運 営 体 制 全 般 の 点 検 結 果 に つ い て 説 明 が あ っ た。
審 議 の 結 果、原 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 き と し て 教 育 研 究 評 議 会 で 審 議 す る こ と が 確 認 さ れ た。
- (2) 平成 2 6 事 業 年 度 に 係 る 業 務 の 実 績 に 関 す る 報 告 書 に つ い て
功 刀 理 事 か ら 標 記 に つ い て 提 案 が あ り、資 料 2 に 基 づ き、全 体 的 な 状 況、項 目 別 の 状 況 及 び 特 記 事 項 等 に つ い て 説 明 が あ っ た。
審 議 の 結 果、原 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 き と し て、教 育 研 究 評 議 会 (平 成 2 7 年 6 月 9 日 開 催) の 議 を 経 た の ち、平 成 2 7 年 6 月 1 5 日 まで 教 職 員 か ら 意 見 聴 取 を 行 い、そ の 結 果 を 踏 ま え、役 員 会 (平 成 2 7 年 6 月 2 2 日 開 催)、教 育 研 究 評 議 会 (平 成 2 7 年 6 月 2 2 日 開 催) 及 び 経 営 協 議 会 (平 成 2 7 年 6 月 2 3 日 開 催) の 審 議 を 経 て 最 終 決 定 し、6 月 末 ま で に 文 部 科 学 省 に 提 出 す る こ と を 確 認 し た。
- (3) 第 3 期 中 期 目 標 ・ 中 期 計 画 (最 終 案) に つ い て
中 井 学 長 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あ り、内 容 に つ い て は 評 価 室 長 か ら 説 明 す る と の 発 言 が あ っ た。

引き続き評価室長から、資料3に基づき、文部科学省との事前相談等での助言を踏まえ、第3期中期目標・中期計画策定WG及び目標計画委員会等で検討を行ってきた修正点等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして、教育研究評議会（平成27年6月9日開催）の議を経たのち、平成27年6月15日まで教職員から意見聴取を行い、その結果を踏まえ、役員会（平成27年6月22日開催）、教育研究評議会（平成27年6月22日開催）及び経営協議会（平成27年6月23日開催）の審議を経て最終決定し、6月末までに文部科学省に提出することを確認した。

(4) ハノーバー大学（ドイツ）及びオザークス大学（米国）との大学間交流協定締結について

小沢副学長より標記について提案があり、内容については国際交流センターから説明するとの発言があった。

引き続き国際交流センターから、資料4に基づき、交流計画、協定内容、協定締結スケジュール、協定締結までの経緯等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして教育研究評議会に報告することが確認された。

(5) 重慶理工大学（中国）との学生交流協定締結について

小沢副学長より標記について提案があり、内容については国際交流センターから説明するとの発言があった。

引き続き国際交流センターから、資料5に基づき、交流計画、協定内容、協定締結スケジュール、協定締結までの経緯等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして教育研究評議会に報告することが確認された。

【報告事項】

(1) 国立大学法人等における女性管理職等への登用推進の目標設定について

中井学長から標記について提案があり、内容については人事課長から説明するとの発言があった。

引き続き人事課長から、資料6に基づき、国立大学協会で了承された女性管理職等への登用推進に係る基本的取組方針に基づく本学の目標値について報告があった。

(2) その他

なし。